

研究の舞台：「挑戦のまち」広島県 神石高原町

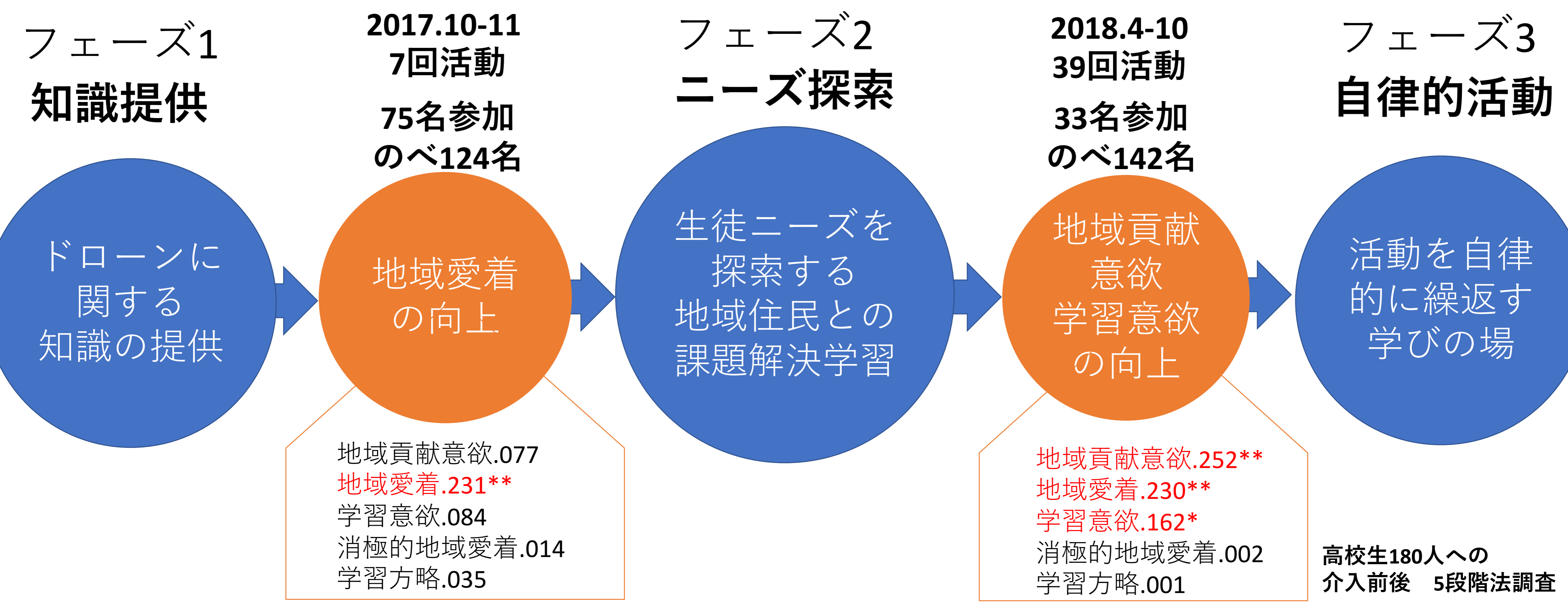
50年間で人口が1/3に。東京23区の6割程度の大きさに8000人が218集落に散住。
若い世代が年70人程度も流出する危機に瀕する、中山間地域の「挑戦のまち」。

研究の問い：「ドローン技術を学びあう関係性」はどうやって生まれるのか？



→これらの3ステップを段階として踏むことで、自発的な活動が生まれた。
繰り返し参加した生徒は学習意欲・地域貢献意欲が、とくに優位に高まった。

手法：
現場に必要な知識を自律的に学ぶ「学習コミュニティ」をつくるための、3段階手法を開発。



実践：生徒ニーズを探索する地域住民との課題解決学習の例。



県立油木高校x地域住民

地域産品のPVを製作し、出荷先スーパーやwebに放映。参加したメンバーの1名は、協力農家に就職予定。



楽天x県立油木高校

楽天株式会社のCSR事業と連携。楽天社員と、オフィス・農園・イベントスペースを整備。1年後に高校生は起業を準備中。



SFCx神石高原町x県立油木高校

高校生の活動を町・大学・高校で支援する「ドローンアカデミー」を発足。10回以上の報道機会を得る。



研究者：神石高原町 地域おこし研究員 (2017.10 - 2019.3) 貫洞 聖彦
1995年東京生まれ。2017年慶應義塾大学 総合政策学部 卒。2019年よりSFC研究所上席所員。